

会派行政視察報告書

会派行政視察における調査結果について、下記のとおり報告いたします。

平成30年7月3日

光市議会議長 木村信秀 様

光市議会会派『新風会』

代表 河村龍男

議員 岸本隆雄

記

- 1 視察年月日 平成30年5月16日（水）～18日（金）
- 2 場 所 宮崎県日南市・大分県宇佐市
- 3 調査結果 別紙のとおり

新風会視察報告書

日時	平成30年5月16日（火）16：15～17：15（日南市） 5月17日（水）10：00～11：30（日南市） 5月18日（木）10：00～11：30（宇佐市）
視察先市区町村名	宮崎県 日南市 大分県 宇佐市
テーマ	日南市 行財政改革について 定員適正化計画について 宇佐市 創業・起業支援制度について
概要	<p>宮崎県 日南市</p> <p>○行財政改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行財政問題対策会議」について ・「行財政推進本部」について ・時間外勤務の縮減について ・補助金の抜本的な見直しについて ・公用車の集中管理について ・保育所の民営化について ・経常収支比率の改善と実質公債費比率の抑制の取り組みについて <p>○定員適正化計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員削減数の算出方法について ・退職勧奨募集について <p>大分県 宇佐市</p> <p>○創業・起業支援制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業・起業応援イベントについて ・支援セミナーについて ・認定連携創業支援事業者について

所感

去る、平成30年5月16日、17日、18日の3日間で日南市及び宇佐市の行政視察を行いましたので、報告します。

5月16日及び17日の2日間、日南市において、「行財政改革と時間外勤務の縮減について」、「定員適正化計画について」の2項目について視察を行いました。

視察に際して、事前に私の関心ある5つの政策について質問をさせていただきました。

1 行財政改革と時間外勤務の縮減について

(Q) 時間外勤務の縮減について

(A) 職員の健康維持及び増進や、公務能率を図る観点から「時間外勤務及び休日勤務の縮減管理に関する指針」を策定し、職員の労働時間の適正な管理に努めております。

具体的には、

- *各職場の業務量の把握と適正な人員配置。
- *職場内での適切な業務分担の調整と係間での応援体制の強化。
- *業務の繋閑等を適切に把握した計画的、効率的な業務執行。
- *事業の廃止、縮小、統合等の事務事業の見直し。
- *時間外勤務命令、確認手続きの徹底及び退庁時間の適正管理。
- *予算編成時において時間外計画書の作成、ヒヤリング。

(感想) 縮減について解決策は、「勤怠管理の徹底」「業務量の削減」「人員の増員」の三点が考えられるが、人員の増員は、厳しい財政状態に於いては難しい。

「業務量の削減」は、行政改革で事業の思い切った廃止、縮小、統合などを行うことでしょう。

(Q) 公用車の集中管理について

(A) 平成18年度から公用車については、公用車の集中管理を行っています。以前は、各課で管理、所有していたものを、どの部署でも使用できるように「共有車両」として運用しています。ただし、一部の部署によっては緊急・継続性などの理由により「優先車両」を認めて運用しています。

(感想) 本市においては、各部署で管理を行っています。わたくしとしては、集中

管理をした方が公用車の台数削減になると思います。

(Q) 補助金の抜本的な見直しについて

(A) 事業に対する市補助金の割合や事業費に対する前年度繰越金の割合、補助 団体等の活動内容、必要性、妥当性などを考慮し、補助金の見直しを予算査定時に行っている。

(感想) 行革の目玉の一つでしょう。思い切ったメスを入れなければいけないと思います。

(Q) 経常収支比率の改善と実質公債費比率の抑制の取り組みについて

(A) 経常収支比率の改善、見直しの方針。普通交付税等が減少する中において、事務事業の見直し等の行財政改革の着実な実行により、経常経費の削減と歳入財源の確保を進め、経常収支比率の改善を図る。H28 年度 9.2% 実質公債費比率の抑制は、一般会計や他会計において計画的な起債事業をおこない、公債費を抑制し比率の抑制をはかる。H28 年度 10.7%

(感想) 本市においては、余り経常収支比率の動向について一喜一憂していない。とのこと。私は、目標値を設定し 1%でも下げていくことが大切だと思います。

2 定員適正化計画について

(Q) 日南市定員適正化計画について

(A) 平成 22 年 3 月に「日南市定員適正化計画」を策定し、平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 年間で 72 人の職員削減を目標として、市民協働の推進職員配置と行政組織の見直し、民間委託の推進、新規職員採用の抑制などを行いながら定員の削減に努めてきました。しかしながら、本市を取り巻く財政状況は依然として厳しく、その一方で市民ニーズの高度化・多様化により行政需要は高まり、また、人口減少による地域経済への影響や地域の活力低下が懸念される中、高齢化による社会補償費の増大など、行政経費は今後も増加することが見込まれます。

日南市の具体的な取り組みとして、

* 組織の見直し・・・組織のスリム化

* 民間委託の推進・・・業務委託。指定管理者制度導入。民営化

* 事務事業の見直し・・・最小の経費で最大の効果

*新規職員採用の抑制

*地域自治の推進

(感想) 本市においては、目標数値を設定されていない。中長期的な定員適正化計画が必要だと思います。



5月18日に、宇佐市において、「創業・起業支援について」視察を行いました。視察に際して、事前に私の関心ある政策について質問をさせていただきました。

1 創業・起業支援について

(Q) 創業・起業応援イベントについて

(A) 宇佐市では、これまで各種団体が個別に創業支援を行っていましたが、政府が、平成26年1月に施行した「産業競争力強化法」に基づき、平成27年1月に、国からの認定を受けたことにより、取り組みを強化し、体制強化を実行されました。

(感想) 平成27年度から、宇佐市がイニシアティブを取り関係機関との連携を強化し、なんと、創業支援者数は、68件。創業者は、15件となったそうです。

取り組みで参考になったことは、

*情報を集約して、一元管理をされていること。

*創業者のフォローアップを定期的にされていること。

*宇佐市がイニシアティブを取られ、各種支援事業の主催者になられていることです。

それと、何と言っても担当課長のやる気、ヒシヒシと感じ取れました。

どうも、親切な対応ありがとうございました。

この事業の成功と御市の益々のご発展をお祈りいたします。

